

安全データシート

改訂日: 2022年6月22日

1. 製品及び会社情報

製品名
会社名
住所
電話番号

ナトリウムメトキシド
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
EA0015

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物理化学的危険性
健康に対する有害性

可燃性固体: 区分1
自己発熱性化学品: 区分1
急性毒性(経口): 区分4
皮膚腐食性及び刺激性: 区分1
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性: 区分1
特定標的臓器毒性: 区分3(麻醉作用)
(単回暴露)

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
可燃性固体
自己発熱: 火災のおそれ
飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

【安全対策】
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
容器を密閉すること。/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱い後は手などをよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
【応急措置】
飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
火災の場合、消火するために適切な消火剤を使用すること。
【保管】
他の物質から離して保管すること。
適切な量以上の大量品は、涼しい温度で保管すること。
積荷/パレット間にす隙間をあけること。
施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名
別名
化学式

化学物質
ナトリウムメトキシド
ナトリウムメチラート、ソジウムメチラート
 CH_3ONa

化学物質を特定できる一般的な番号 成分及び含有量 官報公示整理番号(化審法、安衛法) その他	CAS RN:124-41-4 ナトリウムメトキシド 100% (純度95%以上のもの) (2)-203 HSコード:2905.19
4. 応急措置	
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 吸入: 咽頭痛、咳、灼熱感、息苦しさ、息切れ。 皮膚: 発赤、痛み、重度の皮膚熱傷。 眼: 発赤、痛み、熱傷。 経口摂取: 咽頭痛、咽喉や胸部の灼熱感、ショック、虚脱。
医師に対する特別な注意事項	医学的な経過観察が必要である。 肺水腫の症状は 2～3 時間経過するまで現われない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。 医師または医師が認定した者による適切な吸入療法の迅速な施行を検討する。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂類 水、水系消火剤 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 多くの反応により、火災や爆発を生じることがある。 加熱すると、激しく燃焼または爆発することがある。水と激しく反応し、引火性のメタノール、腐食性の水酸化ナトリウムを生じる。湿った空気に触れると自然発火することがある。強力な還元剤であり、酸化剤と激しく反応する。強塩基であり、酸と激しく反応し、腐食性を示す。多くの金属を侵して引火性/爆発性気体を生じる。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
特有の消火方法 消火を行う者の保護	
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 環境中に放出してはならない。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 二次災害の防止策: すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。皮膚に触れたり、吸入しないように注意する。 粉じん、蒸気、スプレー、ヒュームを吸入しないこと。 飲み込まないこと。 皮膚と接触しないこと。 眼に入れないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 10項に示す混触危険物質との接触を回避する。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避 衛生対策 保管 安全な保管条件	他の物質から離して保管すること。 適切な量以上の大量品は、適切な温度で保管すること。

安全な容器包装材料	積荷とパレット間にすきまをあけること。 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。 ポリプロピレン
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
管理濃度	未設定
日本産衛学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	白色ないし淡褐色の粉末
臭い	僅かにメタノール臭あり。
融点/凝固点	約300℃以上で熱分解する。
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
燃焼性	燃焼性有り。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	77.5℃以上 (セタ密閉式)
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	約300℃以上で熱分解する。
pH	12.8 (20℃, 10g/L)
動粘性率 (粘度)	該当情報なし。
溶解度	水と反応する。メタノール、エタノールに可溶。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	0.6g/cm ³ (嵩密度)
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	空気中で吸湿して加水分解し、水酸化ナトリウムとメタノールを生成す
危険有害反応可能性	多くの反応により、火災や爆発を生じることがある。 加熱すると、激しく燃焼または爆発することがある。水と激しく反応し、引火性のメタノール、腐食性の水酸化ナトリウムを生じる。湿った空気に触れると自然発火することがある。強力な還元剤であり、酸化剤と激しく反応する。強塩基であり、酸と激しく反応し、腐食性を示す。多くの金属を侵して引火性/爆発性気体を生じる。 加熱、高温、火気、湿気 (水分)
避けるべき条件	水、酸化剤
混触危険物質	メタノール、水酸化ナトリウム
危険有害な分解生成物	
11. 有害性情報	
急性毒性	経口 : ラットLD50の報告が4件 (1500、800、1687、2037) あり、3件が区分4の範囲内にある。(区分4) 経皮 : ラットの試験で2000mg/kgで死亡なしのデータ(SIDS (access on 8.2008))より区分5とした。(JIS区分外)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギの試験で15分間ばく露して重度壊死が見られ、8日後も回復なし (SIDS (access on 8. 2008))の報告により腐食性と判断した。(区分1)
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	ウサギの試験で、24時間後角膜の軽度の発赤、重度の混濁、およびわずかな浮腫、まぶたの壊死が見られ、8日後激しい壊死、化膿、まぶたの萎縮となった (SIDS (access on 8. 2008))の報告による。皮膚腐食性/刺激性も区分1である。(区分1)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器 : 該当情報なし。(分類できない) 皮膚 : 該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	In vivoの試験データがなく分類できない。なおAmes試験の結果は陰性である。(分類できない)
発がん性	該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	ラットの2件の経口投与試験で1000mg/kg以下の投与で、麻酔性、ふらつき歩行、異常な姿勢、無緊張、痛み反射の低下、昏睡状態が見られた (SIDS (access on 8. 2008))の報告による。(区分3麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)

12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: (急性) 該当情報なし。(分類できない) 長期: (慢性) 該当情報なし。(分類できない)
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS 分類:分類できない)
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上 望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	1431
品名(国連輸送名)	ナトリウムメチレート
国連分類	クラス4.2(副次8)
容器等級	II
海洋汚染物質	該当しない。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がな いよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	138
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物[ナトリウムメタノ ラート][施行令別表9](2025年(令和7年4月1日)以降) 危険性又は有害性を調査すべき物[ナトリウムメタノラート] (2025年(令和7年4月1日)以降) 指定可燃物[可燃性固体類](第9条の4 政令別表4) 可燃性物質類・自然発火性物質(危規則第3条・危険物告示別表第1) 可燃性物質類・自然発火性物質(施行規則第12条・危険物告示別表第1) 可燃性物質類・自然発火性物質(施行規則第194条・告示別表第1)
消防法	
船舶安全法	
港則法	
航空法	
16. その他の情報	
参考文献	職場のあんぜんサイト(厚労省HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) 国際化学物質安全性カード(ICSC) GHSの挑戦(化学工業日報社) 主要化学物質の法規制一覧表(化学工業日報社) NITE－CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではあり ません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ 等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではあり ませんので取り扱いには十分注意して下さい。